

市民提案型国際キャリアアップ事業実施レポート		作成日	2007/02/07
主題 (テーマ)	日本と韓国間の研究と国際交流	氏名	山崎 晶子

今回、私は工学的分野の研究で世界的に著名な韓国ソウルの梨花女子大学校、金明姫教授の研究室に二ヶ月間、医療画像処理システムの研究のために滞在してきた。この研究室では、バーチャルリアリティの医療応用に関する最先端の研究が行われている。私も大分大学工学部知能情報システム工学科の研究生として、三次元医療画像システムの研究を行っており、この留学では梨花女子大学校の先端技術にふれ、一緒に研究に取り組むことで、お互いに新技術の開発を行い、またその成果を帰国後の大分大学での研究の推進に役立てている。具体的には、韓国と大分間でシステムの研究実験を行ったり、お互いの研究について討論しあったり、梨花女子大学校で研究に関連する講義に参加して勉強することが出来た。また、ちょうど同校で開催されていた、ドイツの研究所と韓国の大学等の研究室での医療画像処理の研究に関するワークショップにも参加することができ、世界的な研究内容についての意見交換をするといった貴重な体験も出来た。

学生同士の交流としては、留学先の梨花女子大学校とソウル大学、建国大学、延世大学の四校の研究生合同のメンバーシップトレーニングといった、各校の研究成果の発表会に加え、お互いの交流を深めるレクレーション形式の合宿にも参加することができた。この合宿で韓国の大学の研究生らと交流を深め、互いの文化やそれぞれの大学生活について話し合ったりすることができた。ここで知り合った研究生によると、韓国の学業に対する取り組みや考え方は、とても真面目で向上心が高いということが感じられた。特に私が留学した大学は女子大だったこともあり、女性の勉学精神がとても旺盛で、大学院の修士課程までにとどまらず、博士課程まで進学して研究を続ける人も多く、また、会社に勤めている女性も学力を高めるために研究室に入って研究している人もいて、日本の学業に対する考え方と少し違いとても勉強になった。

この留学の目的は、大分大学と梨花女子大学校間の国際的な研究開発だけでなく、大学の研究生徒間の国際的な交流はまだ少ないとされているので、二ヶ月間留学先の研究生との交流を深め、今後もそれぞれの研究の国際的な推進だけに限らず、韓国と大分間での交友関係を深めることができたかと考えて留学することにした。現在でも、お互いの研究室での研究成果について意見交換したり、韓国と大分間の研究システムの実験を盛んに行っており、また、この留学で知り合った研究生を大分に招待したりと韓国と大分での国際的な交流を深めている。

